

NY マーケットレポート (2017 年 1 月 19 日)

NY 市場では、序盤に発表された米新規失業保険申請件数や、住宅着工件数、フィラデルフィア連銀景況指数が軒並み堅調な結果となったことを受けて、ドルは主要通貨に対して上昇となった。また、ドラギ ECB 総裁が、最近の域内の物価上昇にもかかわらず、「まだ納得できない」と発言し、金融緩和策を継続する姿勢を示したことを受けて、ユーロ対ドルで大きく下落したこともドルの押し上げ要因となった。

その後、ドルは反落となったものの、ムニューチン次期米財務長官が、先日のトランプ次期大統領のドル高牽制発言が、長期的な展望に言及したものではないと発言したことを受けて、ドルは一段の上昇となった。

しかし、その後ドルについて「非常に強い」と発言したことや、週末の米大統領就任式でのトランプ大統領の演説を控えて、警戒感から調整の動きが出たこともあり、終盤には一段の下げとなった。

2017年 1月19日 (木)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	114.83	114.96	114.45
EUR/JPY	122.21	122.26	121.74
GBP/JPY	141.02	141.04	140.40
AUD/JPY	86.40	86.46	85.95
EUR/USD	1.0642	1.0648	1.0623

LONDON	高値	安値
USD/JPY	114.97	114.41
EUR/JPY	122.35	122.05
GBP/JPY	141.58	140.90
AUD/JPY	86.69	86.40
EUR/USD	1.0671	1.0638

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	114.81	115.62	114.52
EUR/JPY	122.42	122.75	121.85
GBP/JPY	141.67	142.18	141.16
AUD/JPY	86.81	87.06	86.59
NZD/JPY	82.52	82.74	82.24
EUR/USD	1.0663	1.0677	1.0590
AUD/USD	0.7562	0.7572	0.7530

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	19732.40	-72.32
S&P500	2263.69	-8.20
NASDAQ	5540.08	-15.57
日経225 (CME)	19045	+35
トロント総合	15409.81	+11.96
ボルサ指数	46265.26	-95.37
ボベスパ指数	63950.86	-198.71

1/20 経済指標スケジュール

09:00 【オーストラリア】11月HIA新築住宅販売
 11:00 【中国】4Q実質GDP
 11:00 【中国】12月鉱工業生産
 11:00 【中国】12月固定資産投資
 11:00 【中国】12月小売売上高
 14:30 【日本】12月百貨店売上高
 16:00 【日本】12月コンビニエンスストア売上高
 16:00 【ドイツ】12月生産者物価指数
 18:30 【英国】12月小売売上高
 22:30 【カナダ】12月消費者物価指数
 22:30 【カナダ】11月小売売上高
 23:00 【メキシコ】12月失業率

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1201.50	-10.60
NY 原油	51.37	+0.29
CME コーン	366.25	+1.25
CBOT 大豆	1070.25	-4.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.221%	1.217%
3年債	1.517%	1.506%
5年債	1.958%	1.928%
7年債	2.277%	2.238%
10年債	2.466%	2.422%
30年債	3.041%	3.006%

ドイツ10年債	0.379%	0.355%
英国 10年債	1.408%	1.336%

1/20 主要会議・講演・その他予定

- ・フィラデルフィア連銀総裁 講演
- ・サンフランシスコ連銀総裁 講演
- ・米国 大統領就任式

NY 市場レポート

21 : 45

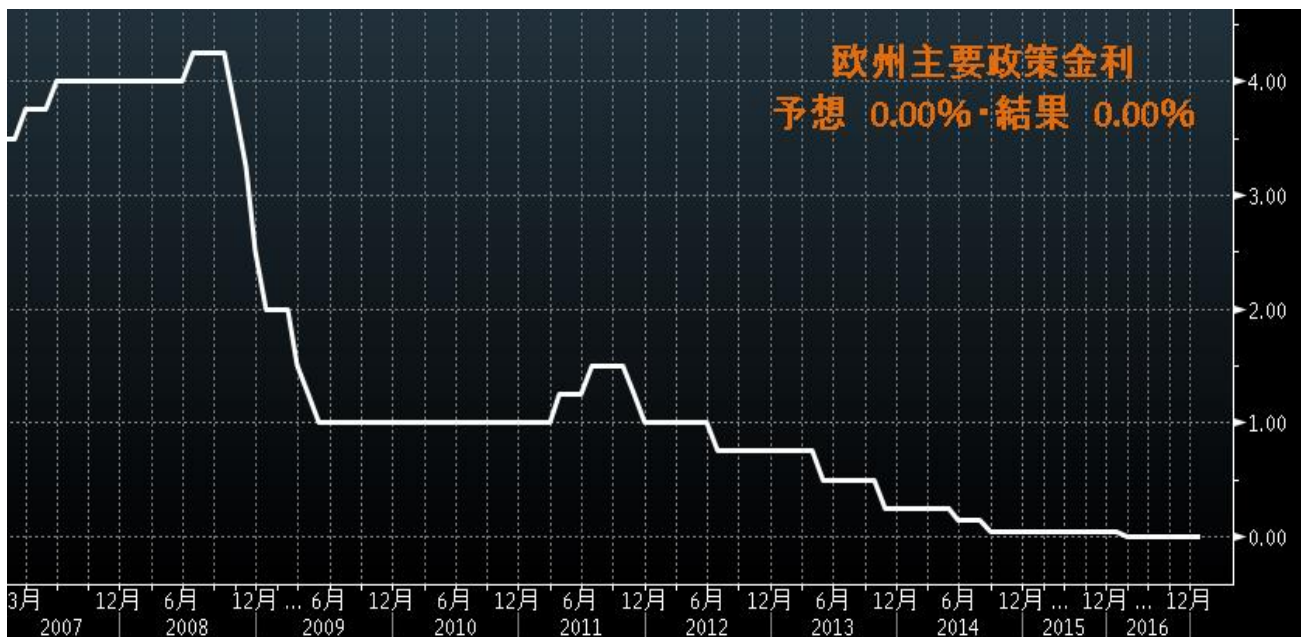
◀ 経済指標の結果 ▶

欧州主要政策金利 0.00% (予想 0.00%・前回 0.00%)

欧州中銀預金金利 -0.40% (予想 -0.40%・前回 -0.40%)

欧州限界貸出金利 0.25% (予想 0.25%・前回 0.25%)

ECB（欧州中央銀行）は理事会を開き、リファイナンスオペの最低応札金利は 0.00%、中銀預金金利はマイナス 0.40%、限界貸出金利はプラス 0.25%で維持した。また、量的緩和（QE）プログラムの下での債券購入については、3 月までは 800 億ユーロ（約 9 兆 7000 億円）、4 月以降は 600 億ユーロ（約 7 兆 3300 億円）に減額、資産購入期間を今年 12 月末まで 9 ヶ月延ばした昨年 12 月の決定通りで継続することを決めた。



出所：Bloomberg

21 : 50

ECB

- ・「資産買い入れ額は 4 月から 12 月まで月額 600 億ユーロ」
- ・「資産買い入れ額は 3 月末まで月額 800 億ユーロを維持」
- ・「状況により資産買い入れ額や期間を拡大する可能性も」

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

12 月ポーランド小売売上高（前月比） 21.3% (予想 21.7%・前回 -3.3%)

12 月ポーランド小売売上高（前年比） 6.4% (予想 6.5%・前回 6.6%)

12 月ポーランド生産者物価指数（前月比） 1.0% (予想 0.7%・前回 1.2%)
前回発表の 1.1%から 1.2%に修正

12 月ポーランド生産者物価指数（前年比） 3.0% (予想 2.6%・前回 1.8%)
前回発表の 1.7%から 1.8%に修正



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

米新規失業保険申請件数 23.4 万件 (予想 25.2 万件・前回 24.9 万件)
 前回発表の 24.7 万件から 24.9 万件に修正

米失業保険継続受給者数 204.6 万人 (予想 207.5 万人・前回 209.3 万人)
 前回発表の 208.7 万件から 209.3 万件に修正

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

	申請件数	・	前週比	・	4週移動平均	・	受給者数	・	受給者比率
17/01/14	234,000	・	-15,000	・	246,750	・	2,046,000	・	1.5%
17/01/07	249,000	・	+12,000	・	257,000	・	2,093,000	・	1.5%
16/12/31	237,000	・	-30,000	・	258,250	・	2,116,000	・	1.5%
16/12/24	267,000	・	-8,000	・	263,500	・	2,105,000	・	1.5%
16/12/17	275,000	・	+21,000	・	263,750	・	2,039,000	・	1.5%
16/12/10	254,000	・	-4,000	・	257,750	・	2,021,000	・	1.5%
16/12/03	258,000	・	-10,000	・	252,500	・		・	

受給者数は集計が1週間遅れる

米失業保険申請件数は、前週比-1.5万件的23.4万件的となり、2週ぶりに減少した。節目となる30万件的を98週連続で下回った。申請件数の4週移動平均は、前週比-1万2500件的の24万6750件となり、1973年11月3日までの週以来の低水準となった。また、集計が1週間遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-4.7万人の204.6万人となり、2週連続で減少した。受給者総数の4週移動平均は、前週比+1750人の209.0万人。受給者比率は、前週比横ばいの1.5%だった。

22:30

《 経済指標の結果 》

12月米住宅着工件数 122.6万件（予想 118.8万件・前回 110.2万件）
前回発表の109.0万件から110.2万件に修正

12月米住宅着工件数（前月比） 11.3%（予想 9.0%・前回 -16.5%）
前回発表の-18.7%から-16.5%に修正

12月米建設許可件数 121.0万件（予想 122.5万件・前回 121.2万件）
前回発表の109.0万件から121.2万件に修正

12月米建設許可件数（前月比） -0.2%（予想 1.1%・前回 -3.8%）
前回発表の-4.7%から-3.8%に修正



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

経済指標データ

《米住宅着工・許可件数》

	12月	・	11月	・	10月	・	9月	・	8月	・	7月	
住宅着工件数	・	122.6	・	110.2	・	132.0	・	105.2	・	116.4	・	121.8
一戸建て住宅	・	79.5	・	82.8	・	86.8	・	78.1	・	72.4	・	76.9
集合住宅	・	43.1	・	27.4	・	45.2	・	27.1	・	44.0	・	44.9
許可件数	・	121.0	・	121.2	・	126.0	・	122.5	・	115.2	・	114.4
一戸建て住宅	・	81.7	・	78.0	・	77.4	・	74.2	・	73.6	・	71.1
集合住宅	・	39.3	・	43.2	・	48.6	・	48.3	・	41.6	・	43.3

前月比（％）

住宅着工	・	11.3	・	-16.5	・	25.5	・	-9.6	・	-4.4	・	1.9
住宅建設許可	・	-0.2	・	-3.8	・	2.9	・	6.3	・	0.7	・	-0.8

12月の米住宅着工件数は、年率換算で前月比+11.3%の122.6万件となり、2ヵ月ぶりに増加した。前年同月比では+5.7%。前月大きく減少した集合住宅が大きく伸びたことが全体を押し上げる要因となった。

①一戸建て住宅は、前月比-4.0%の79.5万件と2ヵ月連続の減少。それ以外の集合住宅は43.1万件と前月比で+57.3%となった。

②地域別では、北東部が+18.5%、中西部が+31.2%、西部が+23.5%となったものの、最大市場の南部は-1.4%となった。

③着工件数の先行指標となる建設許可件数は、前月比-0.2%の121.0万件となり、2ヵ月連続のマイナスとなった。前年同月比では+0.7%だった。

22：30

《 経済指標の結果 》

1月フィラデルフィア連銀景況指数 23.6（予想 15.3・前回 21.5）

前回発表の21.5から19.7に修正



出所：Bloomberg

経済指標データ

《フィラデルフィア連銀指数》

	1月	12月	11月	10月	9月	8月
景況指数	23.6	19.7	8.7	11.7	11.6	4.3
仕入価格	32.5	28.1	27.6	8.9	20.8	18.7
販売価格	26.8	8.0	16.4	-1.9	9.4	6.6
新規受注	26.0	14.9	15.2	17.3	5.3	-3.4
出荷	20.5	21.7	16.6	15.5	1.4	8.7
受注残	10.7	3.6	3.3	-4.7	-8.1	-10.8
入荷遅滞	5.4	5.4	3.7	-0.7	-6.4	-3.8
在庫水準	12.2	1.3	12.3	-10.4	-24.8	-9.6
雇用者数	12.8	3.6	-4.1	-4.1	-5.1	-17.7

6ヵ月先予想

	1月	12月	11月	10月	9月	8月
景況指数	56.6	48.7	32.2	35.7	38.4	40.8
仕入価格	49.0	46.5	38.8	41.5	39.8	29.7
販売価格	27.5	29.1	30.6	27.9	31.2	15.5
新規受注	54.5	48.8	41.1	39.6	37.3	41.3
出荷	59.1	46.7	31.7	39.8	32.8	45.4
受注残	25.8	16.3	10.6	13.7	8.9	4.6
入荷遅滞	14.2	12.5	5.4	5.5	7.5	-1.0
在庫水準	10.9	18.9	6.0	10.6	5.6	-5.0
雇用者数	38.6	24.2	14.4	24.1	22.7	13.5

22:40

《要人発言》

ドラギ ECB 総裁

- ・「基調的なインフレ圧力、依然弱い」
- ・「景気見通しへのリスク、依然下振れ方向」
- ・「基調的なインフレについて、確固たる上昇トレンド見えない」
- ・「大幅な刺激策が、引き続き必要」

- ・「ECB は、刺激策の削減は議論しなかった」
- ・「ECB は、QE の縮小実施方法について議論しなかった」
- ・「QE は必要ならば強化や見直しが可能」

ユーロ円、5分足、#100



出所：Net Dania

《欧州のポイント》

域内の消費者物価指数が3年3ヵ月ぶりの高水準となったことで金融緩和策に反対する声も高まりつつあったが、記者会見でドラギ ECB 総裁は、2%弱の物価目標の達成に向けて「まだ納得できる上昇基調は見られない」と述べ、金融緩和策を継続する考えを示した。また、英国のメイ首相が欧州単一市場から完全に離脱する方針を表明したことに関して、ユーロ圏への影響について「コメントするのは時期尚早」と語った。そして、国債などの資産を買い取る量的金融緩和の段階的な縮小は議論していないと改めて強調し「検討する際は慎重な分析が必要だ」とした。

1:00

《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫・・・235 万バレル増加
 ガソリン在庫・・・595 万バレル増加
 留出油在庫・・・96.8 万バレル減少
 クッシングの原油在庫・・・127.4 万バレル減少

《 NY 債券市場 ・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、米失業保険申請件数が市場予想に反して減少したほか、米住宅着工件数やフィラデルフィア連銀指数がいずれも予想より良い内容だったことで米景気が堅調に拡大しているとの見方が広がり、安全資産とされる米国債の売りが先行した。午前の利回りは、30 年債が 3.05%（前日 3.01%）、10 年債が 2.47%（2.43%）、7 年債が 2.29%（2.24%）、5 年債が 1.97%（1.93%）、3 年債が 1.53%（1.51%）、2 年債が 1.24%（1.22%）。

2:30

《 要人発言 》

ムニューチン・次期米財務長官

- ・「銀行規制の緩和に取り組む」
- ・「ボルカールールを支持」
- ・「対ロシア制裁の実行にコミットする」
- ・「ドルの長期的な強さが重要」

- ・「ドルは非常に強い」
- ・「短期的なドルの動きにコメントする役割はない」
- ・「早期の債務上限引き上げを要望」
- ・「国家債務を縮小させる最善の方法は成長加速」

3 : 00

≪米 10 年物 TIPS 債入札≫

最高落札利回り・・・0.436%（前回 0.369%）
 最低落札利回り・・・0.330%（前回 0.210%）
 最高利回り落札比率・・・29.75%（前回 62.71%）
 応札倍率・・・2.45 倍（前回 2.39 倍）
 発行額・・・130 億ドル（前回 110 億ドル）

≪欧州株式市場≫

欧州株式市場は、ECB 総裁が金融緩和を継続する姿勢を示したのを好感した買いが入る一方、ポジション調整の売りに押され、主要株価は小幅安となった。

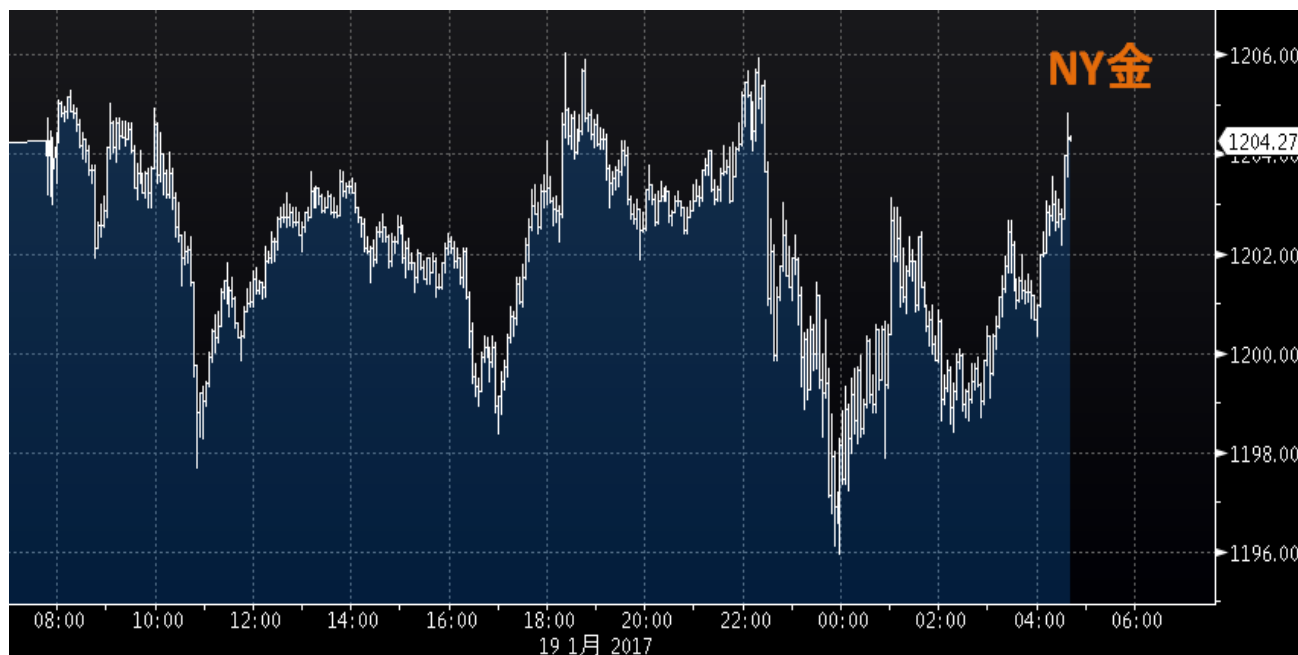


出所 : Bloomberg

≪ NY 金市場 ≫

NY 金は、中心限月が前日比 10.60 ドル安の 1 オンス＝1201.50 ドルで取引を終了した。

NY 金は、イエレン FRB 議長が前日の講演で今年前半の追加利上げの可能性を示唆したことに加え、米経済指標が市場予想より良い内容となったことでドルが主要通貨に対して上昇し、金の売りが優勢となった。

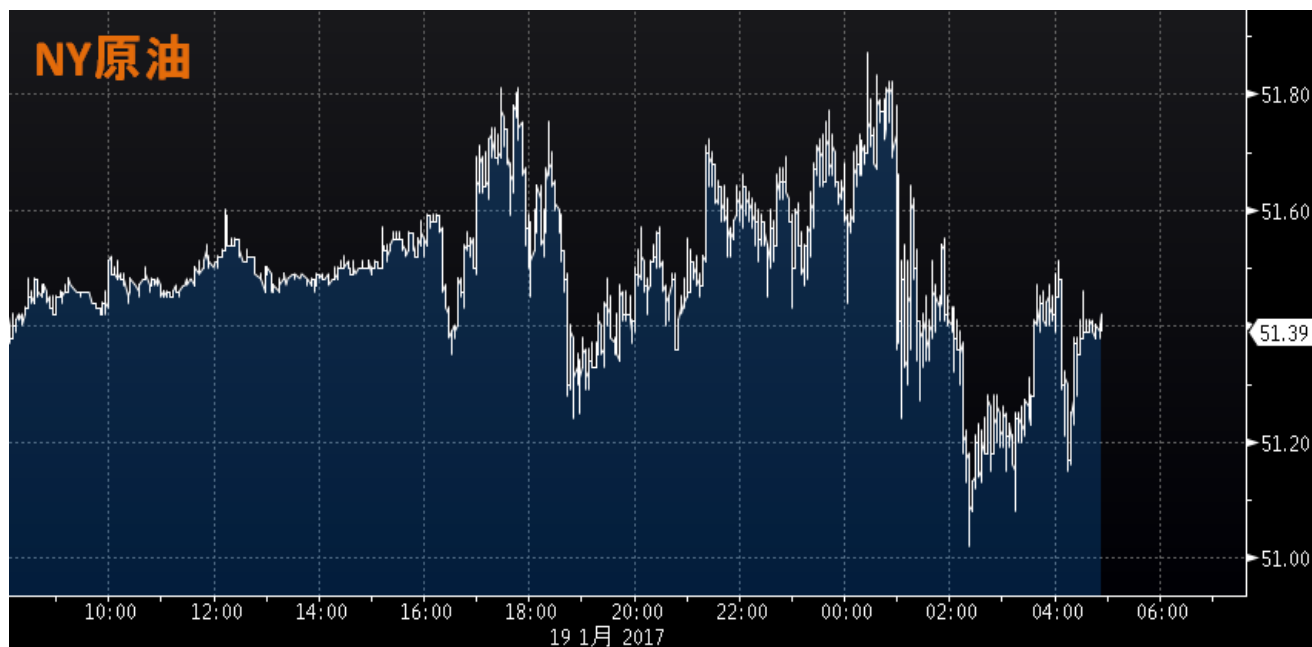


出所：Bloomberg

＜ NY 原油市場 ＞

NY 原油は、中心限月が前日比 0.29 ドル高の 1 バレル＝51.37 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、IEA（国際エネルギー機関）が、OPEC 加盟国の昨年 12 月の原油生産が減少したと報告したことが買い材料となった。一方、米石油統計で 原油在庫が市場予想に反して増えたことが嫌気され、売られる場面もあった。



出所：Bloomberg

＜米株式市場＞

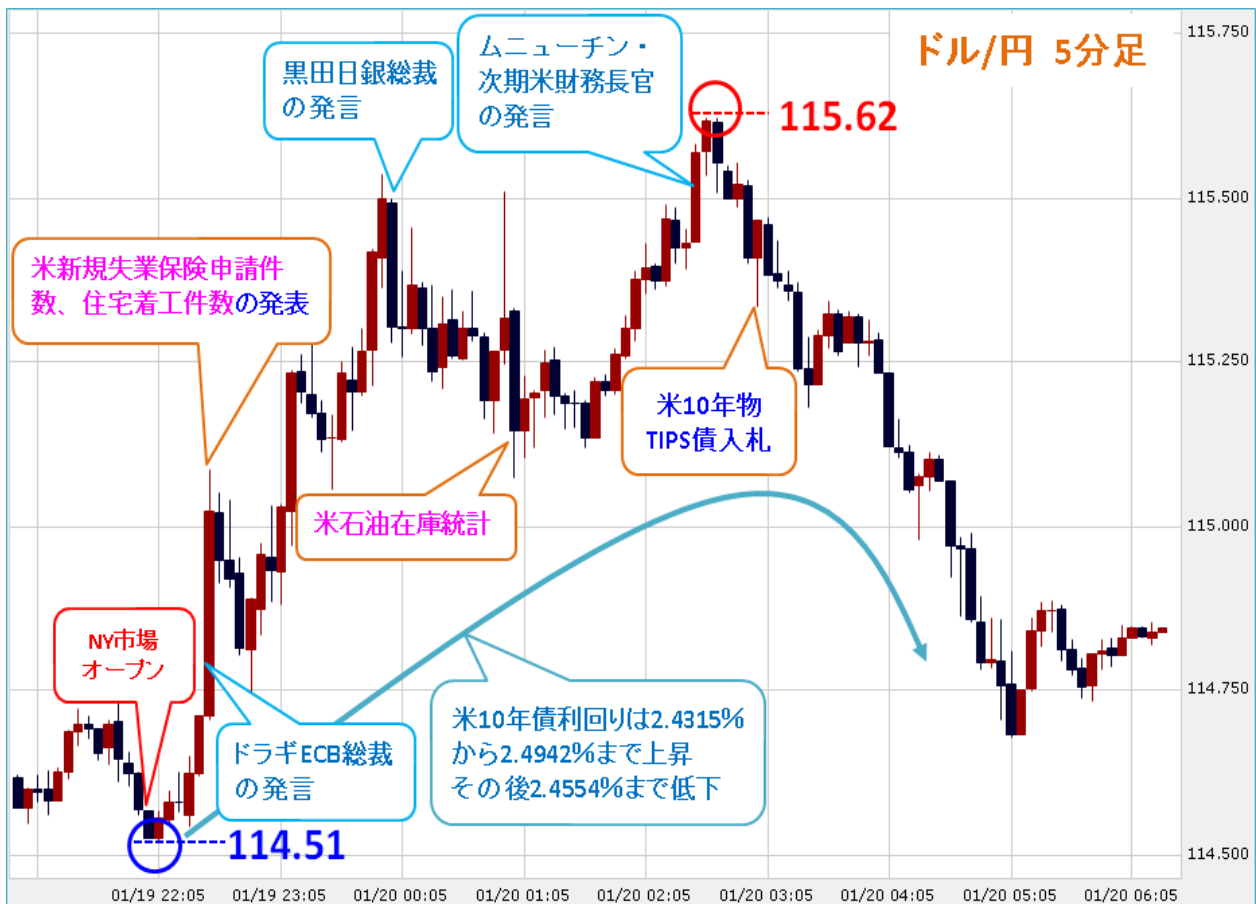
米株式市場は、米住宅着工件数が市場予想を上回ったことなどで投資家のリスク志向が強まり、序盤は買いが先行した。しかし、米大統領の就任式での演説を控えて、トランプ大統領の経済政策の行方を見極めたいとの思惑から、ポジション調整の売りが優勢となり、終盤には下げ幅を拡大する場面もあった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米経済指標が軒並み堅調な動きとなったことから、ドルが主要通貨に対して堅調な動きとなった。一方、ユーロは、ドラギ ECB 総裁の発言を受けて軟調な動きとなった。その後は、米長期金利の上昇などもあり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。しかし、トランプ大統領の就任式での演説などを控えていることもあり、終盤には反落となった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。